

## 令和8年第3回加西市教育委員会会議録

- |   |      |              |         |
|---|------|--------------|---------|
| 1 | 開会日時 | 令和8年3月27日(金) | 14時00分  |
| 2 | 閉会日時 | 同日           | 15時25分  |
| 3 | 開催場所 | 市役所1階 多目的ホール |         |
| 4 | 出席者  | 教 育 長        | 菅 野 恭 介 |
|   |      | 委 員          | 中 川 和 之 |
|   |      | 委 員          | 深 田 英 世 |
|   |      | 委 員          | 荒 木 努   |
|   |      | 委 員          | 高 橋 みのり |

### 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	伊 藤 勝
市参事兼こども未来課長	上 坂 智津子
学校教育課長	小 坂 卓 司
生涯学習課長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	三 村 尚 彦
図書館長	桜 井 雄一郎
学校再編室長	中 井 孝 浩
教育総務課長補佐	松 田 ちあき

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

### 6 付議事項

- 議案第11号 社会教育推進員の委嘱について
- 議案第12号 学校医等の委嘱について
- 議案第13号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
- 議案第14号 加西市教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の人事異動内示について

### 7 議題となった動議を提出した者の氏名

教育長より、本日の議案第 14 号は人事案件であるため、加西市教育委員会会議規則第 15 条第 1 項のただし書の規定に基づき非公開とすることを諮り、出席者（5 名）の全会一致で承認を得ました。

会議の進行上、先に報告事項を行い、議案第 14 号は休憩を挟んだ後に非公開で審議しました。

## 8 質問及び討議の内容

### 議案第 11 号 社会教育推進員の委嘱について

（生涯教育課長の説明）社会教育推進員設置条項第 3 条及び第 4 条の規定により、社会教育推進員に次の者を委嘱したいので委員会の議決を求めます。委嘱する者は各町区長または自治会長よりご推薦をいただいた総数 141 名でございます。なお、5 ページの名簿に誤りがございましたので、別途配布させていただいた差し替えのほうをご覧ください。任期は令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの 1 年間でございます。

### 教育委員の質問と回答

- ・今、この社会推進員さんは加西市で 141 名いらっしゃるんですけど、大体、何年前からこの人数で行っておるんですかね。  
（生涯学習課長の回答）以前は各町 1 から 2 名の推薦を頂いておりましたが、今は 1 名ずつご推薦いただいています。
- ・例えばうちの町ですけど、三つ町に分かれているんですけど、やっぱり活動とかを見ていたらもう社会推進員じゃなしに、そういう人権の行事とか年一回はあったか友愛というのがあるじゃないですか。ああいうようなものも、あったか友愛が社会推進員の関係かはわからないんですけど、言ったら全て社会教育員さんなしで、ふるさと創造の町の役が全部やっているというのがあるので、こんなにたくさん人数が要るのかなと。例えば山下やったら 3 町あるから、一人で十分だし、やっぱりやっているとこもあれば、やっていないところもあるし、うちの町だったら本当にみんなで区長さん、副区長さんを中心としてやっているの、この人数はどうなのかなと思います。多分、去年も言ったと思うんですけど、ちょっとカットしてもらいたいんですけど、うちの町では中には忙しい人もあって出てこられていないです。  
そうだったらだし、子どもも少なくなってきたし、まあ子どもと関係しているかはわからないんですけど、そこは時代に応じた人数で例えば山下の東西中だった

ら山下1町とか、西横田、東横田やったら横田で、西長、東長だったら長で一人とかいうふうに区切ってもいいと違うのかと思ったりもしました。あまりにもこれは多いなと思います。それは地区によって違うのかもしれないけど、子どもも減ってきているし、もう学校も統廃合する時代になってきておるから、今年1年はしようがないんですけど、そこは考えていかないとあかんと思う次第なんです。これも1人1人にお金が出ているでしょう。

(生涯学習課長の回答) 報酬等は、出ていません。

- ・その市民の負担もちょっと考えてあげたほうがいいんじゃないかなと思うしだいなんですけど。

(生涯学習課長の回答) ご意見ありがとうございます。今、教育委員さんがおっしゃったように町によってはその役割をふるさと創造会議で担っているところもあります。そのような実情から、社会教育推進員については以前から、役割や選出について、相談を受けることも多かったため、数年前に実情をお伺いするアンケートを実施しました。アンケートの結果、役割も活動状況も町によって様々で、市から、人数を減らす提案や役割を決めてしまうことは、混乱を招くことになってしまうことがわかったため、それ以後は、それぞれの町で、町の実情に合わせた活動をしていただくために、補助金制度を設けたり、研修会を開催するなどし、活動の支援を行ってきました。しかし、ご意見のとおり、見直しを検討していく必要性は感じておりますので、いろいろなお声を聞きながら進めていかなければならないと思っております。これまで1～2名の推薦をお願いしていたのを、令和8年度は各町1名の推薦に変更し、去年の163名から、このたびは141名の委嘱となっております。

(教育部長の回答) 去年からご指摘を受けておりましたので、人数を削減しようという方向で今進めています。考え方としては、説明したとおりですけれども、方向はそういう方針で考えています。

- ・わかりました。あと、もしよかったら、各地区の社会推進員がこういう活動をしましたよというような報告会とかもしておいたほうが、多分、区長さんでも「推薦、推薦」言われても、私も今年から何かよくわからんけども副区長をさせられているんですけども、いろいろと区長と話ししとって「ちょっとようわからんな」とかいう話はしていたんで、ほかにもいっぱい役割はあるんですけど、そういう一人の役割でも、例えば「こういう役割をするのであれば、こういう活動でこういうことをしてこうやから、この根拠でこう出すんです」と報告してもらえないと、適当な人員配置もできないだろうなというのが一つあったんです。

(教育部長の回答) 人数の削減に関しては、今の状況はそういう形にしております。

- ・わかりました。もうちょっとご検討のほうをまたよろしくお願ひいたします。

#### 議案第 12 号 学校医等の委嘱について

(こども未来課長の説明) こちらは学校保健安全法第 23 条の規定により、加西市立認定こども園等に対し以下の者を委嘱したく議決を求めるものです。なお、令和 7 年度と委嘱される者が変更となるのは、園歯科医 1 名園薬剤師 1 名です。

#### 議案第 13 号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について

(学校教育課長の説明) 学校保健安全法第 23 条の規定により、加西市立学校の学校医、学校歯科医、学校薬剤師に次の者を委嘱したいので委員会の議決を求めます。令和 8 年度の各学校の学校医、学校歯科医、学校薬剤師についてはそれぞれ加西市医師会、歯科医師会、薬剤師会からの推薦を受け、記載のとおり委嘱したいと考えております。令和 8 年度は学校数が減りますので、新しい学校医等の先生方はいらっしゃいません。

#### 教育委員の質問と学校教育課長の回答

- ・一つだけお聞きします。学校医をずっと見ていたら、最後に加西中学校と泉中学校の学校医の先生が同じですけど、この先生は二つの学校を掛け持ちで負担は大丈夫ですか。

(回答) それは大丈夫です。

- ・基本は一つの学校につき一人のことでもないですか。

(回答) 基本そうですけども、掛け持ちは普通にあります。

## 9 議決事項

#### 議案第 11 号 社会教育推進員の委嘱について

原案どおり可決

#### 議案第 12 号 学校医等の委嘱について

原案どおり可決

## 議案第 13 号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について

原案どおり可決

### 10 報告事項

#### 教育長

別紙資料をご覧ください。たくさんございますので主なものをご報告いたします。

2月28日に宇仁小学校の閉校式がありました。太鼓の演奏などをやり、最後は風船をグラウンドから飛ばして終わりました。宇仁小学校出身の役所タケシ君（長谷川君）がミニコンサートを開いてくれました。非常に温かい閉校式になりました。

続いて、3月6日には加西特別支援学校高等部の卒業式が行われました。高等部を卒業するということで子どもたちは社会に出ていきます。本当に先生方も含め保護者の皆様も、協力していただいてよく子どもを育ててきたなと思っております。同日、総合教育センターの運営委員会も行っております。

そして、3月7日は西在田小学校の閉校式でした。こちらでも西在田小学校らしい演劇があり、地域に密着してみんなで閉校を祝うという形で閉校式が行われました。

それから、3月11日は中学校の卒業式でした。委員の皆さん、どうもありがとうございました。

3月13日は加西特別支援学校の小・中学部の卒業式を行っております。

3月14日は日吉小学校の閉校式ということで、これをもって4小学校の閉校式が全て終わりました。日吉小学校につきましては JAXA の研究員の方を呼んでお話を聞くなど、どこの学校もそうですが、趣向を凝らされていきました。学校の閉校は寂しいことですが、はじめをつけて新しい学校につないでいくという思いを感じた閉校式でした。

それから、3月16日には善防統合小学校の開校準備委員会があり、この場で新しい小学校の名前が善防小学校ということに決定いたしております。

3月18日はこども園の卒園式でした。こちらのほうもありがとうございました。

3月19日は小学校の卒業式でした。こちらもありがとうございました。同日にさわやか市民賞授与式があり、日吉小学校の池田君が北条鉄道に関するすばらしい新聞を作って、全国の大会で銀賞ということで表彰をいたしております。

3月23日は脱炭素先行地域づくり事業関係協議ということで、内容につきましては各学校の屋上に太陽光パネルを設置してより地産地消でエネルギーを使うという計画にのっとった協議ということでした。それから、同日には図書館協議会を行っております。図書館の活性化を含めてどのようにしていくかということについて話をいたしております。

3月24日は補導委員の関係協議がありました。先ほどの社会教育推進員もそうなのですが、補導委員のほうも今、加西市では他市町に比べて非常に人数が多く、適正な人数をどう考えるかというようなことについて、補導委員の委員長の方と一緒に協議をいたしております。

同日にはオーストラリア短期留学へ出発しております。先ほどもお見せしましたが、本当に向こうの歓迎がすごくて、市役所でも市長さんだけではなくて議員さんも全員出席して歓迎していただきました。なおかつ、カソワリーコースト市のカソワリーとはヒクイドリという鳥で、市にちなんだ鳥の柄の入ったソックスを全員に頂いてとても喜んでいました。その後も学校でもとても歓迎を受けて、授業に入って今は一緒に授業を聞いているというような状況で、子どもたちはとてもいい経験をしていると思います。昨日はサンゴ礁の保全をする施設へ見学に行ったんですが、その後、そこでエビとかカキとかいろいろな海の幸をいっぱい振舞ってもらって、もう子どもらはとても喜んでいました。さらに、市役所からカソワリーコースト市のプレゼントをもう一つ頂きすごい歓迎でした。

3月26日には五百羅漢の保存修理検討委員会がありました。検討委員会につきましてはこれが最後ということで、あとは各五百羅漢のほうで保存を考えていただくこととなります。同日の午後に文化財審議委員会も行っております。

#### **教育部長**

3月議会について報告いたします。3月25日に閉会となりました。このたびの議会では、この4月から閉校となる学校跡地体育施設等の設置及び管理に関する条例の制定と中型スクールバス2台と小型スクールバス7台の購入契約の締結議案、それから令和8年度当初予算と令和7年度の補正予算を教育委員会から提案させていただいております。また、最終日には、中学校体育館のエアコン整備工事の工期延長契約について追加提案させていただきました。教育委員会に関する予算と議案は全て可決しております。質疑と一般質問の詳細につきましては、事前にご案内したとおりですので割愛させていただきます。

#### **学校教育課長**

3学期の終了に際して、小・中・特別支援学校における学校教育活動についてご報告申し上げます。3月6日の加西特別支援学校高等部の卒業式を皮切りに、順次、3月19日の小学校の卒業式まで全て予定どおり立派な卒業式を行うことができました。また、委員の皆様、ご出席ありがとうございました。その後、統合を控えた泉中学校区の4小学校については、3月20日の春分の日を振り替え授業日として、またそれ以外の学校では3月24日に修了式を無事終えることができました。その後、子どもたちは春休みに入っておりますが、先生方は既に令和8年度に向けた準備でお忙しくされ

ている時期であります。

新年度は4月7日が全ての学校での始業式となり、翌日8日が小学校と中学校の入学式、9日が加西特別支援学校の入学式となります。令和8年度の主な行事と計画訪問の予定につきましては既にお伝えしていますが、来年度もどうかよろしく願います。

#### 生涯学習課長

生涯学習課からは3点ご報告いたします。

1点目、令和8年度社会教育推進員研修会についてご報告させていただきます。4月22日水曜日19時から21時に市民会館小ホールで令和8年度社会教育推進員さんを対象にした研修会を開催いたします。この研修会は今年で3回目になります。これまでの研修会では、社会教育推進員さんに、グループワーク等を通して、各町の取組み等を直接聞いたり話し合ったりをしていただいております。今年度も夢ころばの松尾弥生さんを講師にお招きまし、地域活動の推進というテーマで開催します。

先ほど、教育委員さんより各町がどのような活動をしているか共有してはどうかというご意見を頂きましたが、社会教育推進員さんにはこの研修会を通じて各町の活動の共有をさせていただいております。社会教育推進員さんから町のほうへ共有いただければと考えております。また、活動に役立てていただけるように令和6年度から新設した社会教育推進事業の補助金のご案内も行っております。参考にお伝えしますと、令和7年度の補助金の実績は、18町、35万8,000円を補助させていただきました。

次に、文化財の登録について報告させていただきます。西劔坂町にあります旧高原氏庭園が、令和8年2月17日、国登録記念物に登録されました。昨年11月に座敷2棟の登録に続いて庭園も登録されることになりました。この庭園は明治末期に地元の実業家の高原重太郎氏の自邸に造られた池泉鑑賞式庭園です。西側の上段と、1メートルほど低い東側の下段部の2段築成で、上段部には奥座敷、座敷から見て右手側と前面に庭園が広がっております。造園文化の発展に寄与した意義深い事例として評価されております。個人所有の文化財ですので、事前連絡を頂く必要がありますが、見学もできます。

続きまして、歴史文化講演開催について簡単に報告させていただきます。2月23日14時から令和7年度加西市歴史文化講演を開催しました。「加西市内における古墳の新発見と玉丘古墳群」と題し、大阪大学大学院人文学科の准教授中久保辰夫氏より講演いただきました。これまで市内最大の前方後円墳である玉丘古墳が加西市内で最も古い時期の古墳と考えられてきましたが、古墳時代の中期前葉かそれよりも古い可能性がある前方後円墳2基「中富片山古墳」と「豊倉1号墳」が発見され、令和5～6年度に測量調査を実施されたことを受け、講演をいただきました。この古墳の発見は今

までの加西市における古墳時代の歴史を変える可能性がある大きな発見です。なお、これらの古墳はいずれも個人所有のものであるため、場所は非公開で、見学もできません。

#### 総合教育センター所長

令和7年度研修講座について報告いたします。昨年度末に実施した研修講座に係る教職員アンケート結果を十分に考慮して計画しました。内容としては教職員の資質能力の向上を目的としたキャリアステージや専門分野に応じた講座、教科担当者会とコラボレーションした教科指導講座を中心に、ICT活用や特別支援教育に関する講座を開設しました。また、今年度は生成AIの利活用やセキュリティポリシーに関する特別講座も充実させました。研修観の転換を図り、講義型の研修から受講者同士のグループワークやICT機器の操作を取り入れた、より主体的、実践的に学ぶことができる研修を実施することができました。

また、昨年度のアンケートの集合型研修とオンライン研修の特性や利点を検証し区別化を図るなど、研修効率や資質の向上を目的としたICT活用のさらなる工夫と促進を図るという要望については、研修効果の高い対面型の研修を基本としながら、状況やニーズに応じてオンラインやアーカイブ視聴による研修講座も開設することができました。特にアーカイブ視聴ができる環境を整えたことで、生成AI利活用研修や加西市教育情報セキュリティポリシー研修では、多くの教職員の受講につながりました。昨年度のアンケートのいつも同じ担当者が受講しており良い研修内容であっても横へ広がりにくいため、受講対象者を工夫する必要があるという要望に対しては、生徒指導講座を担当者研修から希望者の選択講座に変更し、加西市情報セキュリティポリシー研修をオンラインとアーカイブにしたことで、受講者の幅が広がられました。一方で、開設している講座数が充実しているため、学校によっては時期や時間帯により研修参加に負担が生じており、引き続き検討が必要であると感じています。

令和8年度の教職員研修講座の開設に向けアンケートを実施し、校長会とも協議を始めています。時代や社会の変化に合わせた研修観のさらなる転換を図るとともに、研修講座の受講により学校現場の運営や教職員の負担が大きくなるように、できるだけ講座開設の時期、時間帯を精選していきたいと思っております。来年度も教職員のニーズに応じていく実効性のある講座を目指し、十分に検討し準備を進めてまいります。

加西市民間不登校児童生徒支援施設利用補助金交付要綱について報告いたします。この要綱は市内の不登校児童生徒の多様な居場所を確保し、学校以外の場において行う社会的自立に向けた多様で適切な学習活動を支援するため、不登校児童生徒の保護者等に対して民間不登校児童生徒支援施設の利用に要する経費について補助金を交付することに関し、加西市補助金等交付規則に定めるもののほか必要な事項を定めるものであります。資料にチラシの案をつけ要綱の概要等を載せておりますので、ご覧く

ださい。

今年の健全育成クリアファイルができておりますので、委員さんの手元にお配りしております。またお使いください。

#### 教育委員の質問と総合教育センター所長の回答

- ・民間フリースクール等の補助制度ですけれども、これは令和8年度からですか。これについてはこういう制度もありますよということで、利用されている方へまたよろしく周知をお願いしたいなと思います。それから、研修講座については、本当に多岐にわたる研修講座を組んでいただいて評価もかなり高いですし、研修に出るのは出たいんだけど学校に負担がかかるということもあってアーカイブとかの工夫もということで、センターがおっしゃることに全く同意するんですけれども、その中でも中身がよりすばらしいものになっていくように、また令和8年度の開設に向けて協議いただいているということですので、その点もよろしくをお願いしたいなと思っていますところでは。

(回答) ありがとうございます。

- ・研修講座なんですけど、ずっと僕も前からウェブやアーカイブでやって広げたらどうかと言ってきましたので、かなりここまで進歩したというのはありがたいなということがまず一つにあります。あと、研修をやっている日を見ていると、結構、夏休みと冬休みの時期が多いので、無理かもしれませんが、全ての講座の開催を夏休みと冬休みに集中してやるというのは難しいことなんですか。

(回答) 講師さんの予定もあります。10月、11月は研究会も多くなるべく避けたいと思って交渉するんですが、講師さんの都合によってはそういう忙しい時期になってしまうこともあります。また、夏休みに集中させると、逆に夏休みに休めないという意見もいただきますので、難しいところだと思います。

- ・難しいですね。一つの講座の時間は1時間のところもあれば、まちまちですよ。

(回答) 大体、90分を基本にしております。

- ・ウェブとかをしだしてからこれでだんだんと参加率は高くなっていますか。

(回答) ウェブにしたら参加率は上がっているんですけれども、どれだけ効果があるのかというのはわからないところではありますし、ウェブも講師さんによってはやめてほしいとおっしゃる方もおられますので、講師さん次第というところもあります。

- ・前はSTEAMがあったけど、STEAMからいろんな講座が変わってきて時代を感じるかなというのがあります。最後、参加者の人にはアンケートを取っているんですね。それで、いつも5点満点中4.8か4.9なんですね。このまま先生のためによろしくをお願いします。

#### 図書館長

令和7年度特別整理期間作業結果についてご報告いたします。3月3日から8日にかけて蔵書点検を実施いたしました。昨年度までは2月末に蔵書点検を行ってございましたけれども、この時期は国立大学の前期日程と重なることから変更したものです。館内にある図書資料を確認し、不明本がないかどうかをチェックしました。あわせまして、3年前から不明になっている資料、汚れたり破損したりした資料、内容が時代にそぐわなくなってしまう資料などや保存期間切れの雑誌等を除籍しております。資料種別ごとの蔵書冊数及び除籍冊数は資料のとおりとなっております。今年度は除籍対象資料と3年前からの不明本を併せまして7,804の除籍をいたしております。続いて不明本の定年比較表についてです。今年度は13冊の本が不明でした。令和3年3月にセキュリティゲートを導入しておりますが、そのときから不明本が減ってきておるような状況です。

続きまして、令和7年度図書館アンケート集計結果についてご報告いたします。これまでは国のデジタル田園交付金事業の業績評価の指標の一つとして3年間実施してきました。所定の期間を過ぎましたけれども、引き続き実施したところです。また、前回までは回答いただいた方に健康ポイントを付与しておりましたが、今回はつけておりません。各項目の結果につきましては資料のとおりです。こちらにつきましては前回までの項目と同じです。前回と結果が違う点につきましては利用頻度で、前は「年に数回利用する」人が一番多かったんですけども、今回は「月2回から3回利用する」人が最も多くなっております。ポイントを付与しなかった関係でふだんから利用されている方がご回答いただいているというようなことで、本の返却サイクルで継続して利用されているということが多く、それが表れたのが理由かと思っております。その他の項目については、前回から大きく変わった点はなかったと見ています。

それで、今回のアンケートで一番お聞きしたかった点として、以前より図書館スタッフから3階部分でBGMを流してはどうかという提案があり、検討していく中でまずはアンケートを取ってみようとなりました。結果としましては、「常に流れていても良い」あるいは「どちらでも良い」の意見を併せましたら、73%というふうな結果でございました。また、3月23日の図書館協議会において協議していただき、「音があっても良い、あまりに静か過ぎるのも入りにくい、エリアを区切って流せばどうか、親などが声を出して読んであげられる空間があってもよいのではないか」などのご意

見をいただいております。BGMを流すことについてこちらとしましては検討を進めてまいりたいと考えております。

#### 教育委員の質問と回答

- ・前々回は質問が急で申しわけなかったんですけど、今回も前々回と同じくいろいろとお聞きしたいことがあります。まず、来館者数ですが、10年前の2015年、つまり平成27年と去年の来館者数の違いはどれぐらいあるかわかりますか。

(図書館長の回答) すみません、失礼しました。平成27年が約23万人、それから昨年の令和6年度が19万2,000人です。

- ・今年度は推定何人ぐらいですか。

(図書館長の回答) 今年度は現在のところの数字なんですけれども、17万4,000人です。昨年の同期で言いましたら、昨年度は17万5,000人ですから、約1%減っているような状況です。見込みとしては同じぐらいか、今のところ昨年の同時期と比べて1%少なくなっておりますので、大体その辺あたりかなと思います。

- ・要は10年前から大体4万人ぐらい減っているという感じということですか。それと、あと同じように年代別ではどうですか。多分恐らく減っている7歳から18歳、つまり小1から高3の来館者数は10年前からどれぐらい減っているかわかりますか。

(図書館長の回答) 年代別は0から6歳、7から12歳、13から15歳という区分けで集計をしています。0から6歳のご利用では、平成27年が1,840人、昨年度の令和6年度は1,990人と増えております。それから、7歳から12歳のご利用は7,670人から昨年度6,061人で、1,600人ほど減っているような状況です。それから、13歳から15歳のご利用は平成27年が約2,550人、昨年度は約1,200人で、こちらも千幾ら減っております。あと、高校生の16歳から18歳のご利用は、平成27年が約1,500人、令和6年度が650人というふうに大きく減っています。

- ・以前も確認で聞いていたんですけど、これをお聞きしたのは、0歳から6歳の話はまた後でしますけど、小学校1年生から高校3までの利用が極端に減っていると思うんです。これが減っているにもかかわらず、今回と令和6年度のアンケートもそうですが、アンケートの内訳を見ると、例えば令和6年度でもアンケートの対象では20代までの回答率が0.9%しか取れていないんですよ。30代や40代でも12.5%で、令和6年度にも書いていたんですけどほぼ60代以上の女性しか取っていない状況なんです。

60代以上の女性が多くて、しかもそれプラス利用している人という特殊な人で全

部アンケートを取り続けているので、アンケートの取り方についてですが、まあもちろんこれはこれで取る必要があったと思うので、別途でもいいのでいわゆる保護者がいる世代とか小中高生に対して、ここでいう「どういうジャンルがあったらいいですか」など必要な情報を取っていただきたいなというのが一つあると思います。でないと、取ったアンケートの要望と今後を支えていく 30 代や 40 代までの人がこうあったほうがいいと実際に思うところがずれてしまうので、その年代の人たちへのアンケートを分析してほしいということも一つあります。

(図書館長の回答) ありがとうございます。是非そのように検討してまいりたいと思います。今年度子ども読書推進計画というようなものの策定も考えておりますので、その中でもしそういうようなことが取れるのであれば、取っていただきたいと思いますし、また別途ということでもいずれにしてもそういうふうな把握に努めていきたいと思っています。

- ・先ほど0歳から6歳の利用は10年前から増えているとなつてはいるんですけど、実態と全然合わないんです。これ何か事情があった来館者数なのか、貸出しなんですか。あそこの0歳から6歳が借りるような絵本のところで増えている感覚はあるんですかね。数字が本当に合っているのかなと思うんですが。

(図書館長の回答) 昨年度、極端に伸びているんですね。先ほど言いましたとおり、平成27年度1,800人で、令和5年度は1,600人なんですけど、昨年の令和6年度でぐんと伸びてきているというところなんです。考えられるのはコロナ禍が明けて5分類になって外に出やすくなったというふうなこと、子ども向けのイベントも多くやっていったというふうなこともあります。そのイベントの中には毎年して子ども読書週間のイベントでまた来月もあるんですけども、お楽しみ本といって何冊かとかまとめて包装し、それを楽しく選んでもらうようなイベントはかなりご好評いただいていたこともあります。はっきりとした原因までこちらは見ていないんですが、そういうふうなことで伸びていっているというふうな感じのことは思います。

- ・特に、10代というか中学生以下の来館者が少ないですけども、学校園との連携というかで学校に図書館の本を貸出ししたり、逆に中学校の生徒会の子どもたちがどんな本がいいかなというように例えば図書館に来館しなくても図書館の本を学校で利用したりしているケースは、かなりあるんですよ。例えばそういう子どもたちにも満足度とかどういう本を購入してほしいかとかを聞くといったアンケートしていただきたいなと思います。

満足度でいうと、10代は5人ほどしか回答していないけれども、満足度が非常にあるということで、どこにそういうところがあるのかということも大事でしょうし、

逆に 50 代はアンケートの回答者数が多いんだけども案外低いので、ここは改善の一つのポイントになるのかなというふうには思っているところです。その辺りをもっと少し細かく分析していただけたらありがたいなと思います。特に、中年と言ったら怒られるかもしれませんが、50 代やその辺りの方に満足していただける図書館づくりも一つの大きな課題かなと思っています。

あと、4 月から休館日が導入されるんですけども、それによって職員の方の働き方がどういうふうに変革されるか、また来館者数にどう影響を出てくるのかというふうなこともあります。課題ばかりお願いして申しわけないんですけども、休館日を設けることでどういうふうに変化があったのか、逆にリスクもあるとは思いますが、その辺りもまた分析していただければと思います。特に休館日を設けることについては我々も、光熱費とかいろんなことに割いている部分を逆に図書の購入とか資料の充実に使っていただくのも一つの方法だし、勤めておられる方がリフレッシュして「明日休んで明後日から頑張ろう」というような形でしていただくのもとてもいいことだろうということで賛成したんですけども、その辺りが今後、来年度変わる部分ですので、その後のフォローとともに分析もお願いしたいなというふうに思っています。

(図書館長の回答) ありがとうございます。

- ・ さっきのデータを見ていたら、小中高の利用はとても減っているということで、アンケートの取り方をどうしたらいいだろうというようなことでしたが、今、学校で 1 人 1 台持っているタブレットから QR を読み取らせて、こちらで情報を得ることはできるんですか。多分、紙でなくペーパーレスでやろうと思うんだと思うけど、結局、タブレットなら 1 人 1 台持っておるから、さっき委員がおっしゃっていたように図書館についてこちらで考えたことをアンケートにして、タブレットで QR を読み取らせて、情報をこちらからもらうということもできるんですかね。

(図書館長の回答) 恐らくそういう通信環境が整っておれば、やり方とすればホームページから回答を願うようなことをやっていますので、ホームページにつながればもうすぐにそれで可能です。

- ・ それか各教室に QR コードだけ二、三枚ぐらい貼っておって、それをピーとしながらやったらどうですかね。

(図書館長の回答) QR コードを読み込ますためのチラシというのがあれば。

- ・ QR だけをコピーして貼って、一人一人タブレットであんなふうにしてやったらできますね。

(教育部長の回答) 技術的には可能です。

- さっき言われていたようにどの本を読みたいのかとか、なぜ図書館に来ないのかという項目を挙げたアンケートをこちらで考えて、せっかくあるタブレットを使ってやれば、簡単で手っ取り早いんじゃないかと今ぱっと思った次第です。検討していただきたいです。そうすれば、多分アンケートの回答率がとても上がると思います。その際には事務局内で作った QR で実際にできるのか一度試して、行けると思ったら各小中学校へ、もしよければ北条高校でも配って、北条高校生もみんな持っていますから、QR で読み取ったアンケートに答えてもらう方法なら手っ取り早いと思います。多分、回答を選べるものなら小学1、2年生でも数をしておるからできると思います。紙だったら数えて集計しないといけないけれど、今の時代、アンケートは読み取るだけで、来た回答はぱっと全部集計されて出てくるはずで、それなら4月からスタートしたとしても、4月終わりには結果が出ているんじゃないかと思ったりもするので、検討していただけたらと思います。

というのも、取りあえず回答率を上げていかなければ、話にならないんじゃないでしょうか。先ほどおっしゃったように特定した人のアンケートだけでは何とも言えませんし、ひょっとしたら BGM のほかにも、例えばしゃべれる空間をつくって集まってみんなで話ししながら勉強したり本を読んだりとかいう案もあるかもわからないし、加西の図書館は静か過ぎる図書館で有名というか、それほどでもないけれど、私も何回か注意されたことがありました。もうそういう時代じゃないので、和気あいあいとした図書館に向けてやれば、おのずと来館者もみんな帰ってくるんじゃないかと思しますので、一回タブレットを使ってアンケートをやっていただけたらなと思います。

(図書館長の回答) アンケートを取る際はそういうデジタルを使ってということで、今回のアンケートでもそれはやっておりますので、ぜひ生徒さんにも取る場合もそういう方法を活用できるかと思います。

- いろいろ図書館のことを質問させていただいたのには、私もいろいろと調べさせてもらって、この周辺の含めた県内の図書館を見たんですけども、加西市の図書館は簡単に言うと施設の充実感はとてもあるし、立地の優位性も多分あるということです。話が長くなってしまうので、要は今の来場者は19万人ですけど、もう20万人とかは普通に返る可能性を十分に持った図書館だということを何となく思うので、ぜひまたいろいろと頑張ってくださいと思います。よろしくお願ひします。
- 頑張ってアンケートを取って情報をまず得ましょう。情報の根拠をつくれれば、どこからどう変えていったらいいかはおのずと見えてくると思うので、多分、小中高生

は私たちが考えているよりもっとすごいものを考えていると思うので、そこから情報を収集したほうがいいかなとは思いますが。

(教育長の回答) 小学生については、北条の子以外はなかなか自力で図書館に行けないということがあります。ですので、来年度には保護者へ周知する教育委員会のシステムができますので、そういう周知についてもぜひご活用いただけたらと思います。よろしくお祈りします。

#### 学校再編室長

3月16日に開催された第3回善防中学校区統合小学校の開校準備委員会について報告いたします。学校名は善防小学校に決定しました。

もう一点、スクールバスの乗降場所についても協議しました。乗降場所については、事務局のほうで各町へ提案し、各町で協議をしていただいて場所を変えてほしいとかいうようなご意見をいただき、再度、事務局で検討し、先日の開校準備委員会で提案しました。委員さんからもスクールバスの乗降場所の決定に当たって譲れない前提条件をきっちり示した上で、地域に提案されたらどうですかというご意見をいただいています。前提条件というのは、スクールバスは進行方向の左側に乗降口がありますので、左側で安全に児童が待てる場所を設定していること、また子どもを乗せて方向転換は基本的にはしないというようなことです。次に地域へ返すときには、そのような形にさせていただきたいと考えております。

#### 教育委員の質問と回答

- ・4月から新泉小学校がスタートしますが、先月に一回スクールバスの試行をしておっしゃっていましたが、状況はどうでしたか。

(学校再編室長の回答) 3月4日と10日にスクールバスの試行は2回させていただきました。おおむね想定どおりの運行はできていますが、バスの乗降管理システムについてQRコードをタブレット端末のカメラで読み込むのに少し時間がかかってしまいました。それについてQRコードリーダーを買いまして、4月からはそれです予定ですので、その辺りはもう少しスムーズに乗降できるようになると思います。最大で10分程度遅れる便が出ましたが、その辺りは解消されると思います。

- ・私もわかってないんですけど、バスに乗ったときにもQRがあるんですね。

(学校再編室長の回答) QRコードを読むと、保護者に「バスに乗りました」という連絡の通知が行きます。

- ・それって子どもらは何を持っているんですか。

(学校再編室長の回答) QR コードのほうを持っています。カメラに近づけ過ぎたり離れ過ぎたりすると読まなかったりしていたので、リーダーを買っていますので次はスムーズに行くと思います。

- それはカードを持たせてフェリカでピッとしたほうが早いでしょう。私の会社はそうで全部フェリカですから、予算のこともありますのでね。わかりました。
- それも連絡会の人に教育長さんと話をしていたんですけども、運転手さんは運転に集中してもらおうということで、そういう乗り降りのときに例えば上級生が下級生の面倒を見てくれるように、そういう指導も4月になったらしていただいでできるだけスムーズに行くようお願いしたいというのが1点あります。もう1点は忙しいのに申しわけないんですけど、善防小学校のスクールバスはほぼ大体ガイドラインができていますけど、中学校も同じ時期に開校なので中学校のほうも考えていただいていると思いますけれども、またよろしくお願ひしたいなと思います。また、自転車置き場の件も必要になる可能性がありますので、その辺りもよろしくお願ひしたいなと思います。
- いろいろ開校に向けてハード面でもソフト面でも様々なややこしい対応も素早くしていただいで、とても大変な中ありがとうございます。本当に大前提に戻るんですけども、次々と開校していく中で泉の開校式とこの間の善防小学校準備委員会があったんですけども、学校名を決めるとか校章を決めるとかいうときに、ちらっと委員さんとか中川さんから子どもたちの意見を途中でも取り入れる機会はないですかとかちょうど意見が時々出ているんですけども、大前提に戻って私がこれまでわかっていないかもわからないんですけども、何かを決定する——校歌を決める、校章を決める、学校名を決めるというプロセスの中で、今回は終わったけれどもまたそれを検討してちょっと変えましょうかとかいうことは、今後あるんでしょうか。  
(学校再編室長の回答) 今回の分に関しましては、選定要領を委員さんに既にご承認いただいでいましたので、それに基づき進めさせていただきました。次の選定要領を決める時に、そのあたりも考慮していきたいと考えています。
- まだ4月がスタートしてないんですけど、例えば乗降するところを保護者が見守ったりとか、ワッショイさんとか見守り隊とか、各町から保護者が出てきたりとか多分すると思うんですけど、それは各町にお任せしているような感じですか。そこまではスタートしてないからまだですか。  
(学校再編室長の回答) 保護者の方や地域の方にも文書でお願いもしておりますし、また4月に代表区長会があるので、市内全域になりますけど、区長さん方を通じてお

願いする予定にしています。

- バスの件なんですけど、さっきおっしゃっていた QR が読み込めないときは、例えばスタートして1日目、2日目はスムーズに行って、3日目のときにそれが読み込めなくなったバスがあった場合、今の話だと1日目、2日目は読み込んだときにすぐに保護者に行くということですね。それが行かなくなったら保護者は今まで来ていた分が来ないということで、バスがそのまま10分待ちか到着したときに、保護者への案内について何かマニュアル的なものがあるんですか。要は今度、どういう仕組みで保護者に早い段階で案内を出すのでしょうか。  
(学校再編室長の回答) 例えばシステムが起動しない場合については、別途メールで連絡をさせていただきます。
- それは着いた段階でいうことですね。  
(学校再編室長の回答) 今回は2回目にあったんですけど、うまく動かなかっただけのことです。
- それは朝に始業点検をしないんですか。機械のほうがいけるかなということですか。  
(学校再編室長の回答) 始業点検はします。機械のほうも確認をするようにします。
- まだ始まってないから根拠はないんですけど、カードが読み取れないというようなのが、一番故障で多いような気がします。それは最初の始業点検をするだけでも防げるんじゃないかなと思います。例えば私は機械を使って仕事しているんですけど、いつも相手のお客さんのところへ機械を持って行くとき、昔、始業点検せずに「昨日まで動いておったから動くだろう」と思ってそのまま持って行ったら、やっぱり機械なので動かなくてそこで仕事がストップしてしまったということがありました。それからうちの会社ではずっと朝に動くかどうかをまず確認した上で、お客さんのところへ行くようにしてから、大分リスクは減りました。点検といっても、かざして通ってきちんと親のほうへ連絡が行くかというだけですし、デモもあると思うのでピッとかざすだけで多分1分もかからないと思うので、それをするだけでも違うんじゃないかと思います。ま、途中でめげてもうたらもう機械なので仕方ないことなんですけど、少しでも児童や保護者への迷惑を減らすということであれば、一度、朝一にデモみたいな形でかざしてやったほうがいいかなと思います。
- よく私もわかりませんが、運転手さんが QR コードをピュッとやったら、それが校長先生に行くとかいうような機械点検の感じはどうかなと思いました。

- ・運転手さんもピットしたら自分のところに飛んでくるようにすればいいかもしれないですね。それで終わりですからね。ほかの故障はわからないんですけども。
- ・そこら辺の細かいことで申しわけないんですけども、QR を読み込まないというようなことがあったときどうするかは、もちろん事前に保護者へ案内しておくということですか。つまりトラブルがあったときの対応やこの時点でこうしますという案内は、ある程度は事前にしておく予定ですかね。要は保護者がそうしたときにどんな対応がされるのか事前に知っているかどうかで違うと思うからです。その辺はバスに乗ったときにもしこういうことがあった場合はこうしますという案内事前にされると思うんですけども、一応そのことについての確認です。生徒が乗ったときには当然、学校にも通知が行くんですか。  
(学校再編室長の回答) 学校は画面で確認できます。  
(教育長の回答) 最後は、機械ですのでどれも動かなかったら、もう名簿に丸つけるしかないかと思いますが、今アドバイスいただきましたようにそういう場合もあるということで、保護者にはお伝えしておかないといけないと思っています。

## 1 1 教育委員の提案とその他

- ・今回、泉が一緒になりましたので、小学校の開校に当たって地域の方と3小学校の声を聞きにいったりしたら、本当に泉以外の校区の方たちも「見守りたいけれども遠くなったので、どんな形がいいかな」というふうに、学校が集まることをマイナスというよりプラスな感じで聞かれることのほうが多く、泉のほうも何か「楽しみだな、たくさん子どもたちが来るんだな」というふうなムードのほうがすごく感じるんです。

この間、お願いしたこともあったんですけども、ふだんの授業で学校も見に行かせていただいたりしても、本当に今の課題としては業務内容の精選というか改善、勤務の適正化、業務時間の短縮とかきちんと機能をするということと、それと不易と流用と教育長も言われていますけれども、今までのうまく回っていたところは、短くなったところで全く新しく短くするのではなくて、今までによかったことをいかに適正の中に入れるかというところを意識しないと、授業を見ていても、新しいことはいいんですけども、少しくいつい言い方ですけども、よさが少しなくなっているなっていうようなところがあったり、これは新しくいいなというところがあったりしますので、今の開校に当たって本当に勤務内容とか勤務時間とかあるんですけども、本当に地域はふれあいとかいろいろなお話をしたいなというふうなところもあります。

本当に今の流れとは戻ってしまうんですけども、うまく時間を活用していろいろな学校とお話しできるような、地域とお話しできるようなこと、それから授業とか

内容に関しては今までの経験ある人が伝えていくというようなところで、内容の精選、使い方というのはとても混ざりやすいということが大事かなと思って、近頃考えています。

(教育長の回答) 小学校に関しては、先ほどもありましたように地域が非常に大きくなりますので、多分、総合的な学習の時間等を使うことになると思うんですけども、各地域の特色ある行事等で子どもたちが力を発揮できるような機会をつくることも必要だと思いますし、それぞれの地域の方に来ていただいて一緒に勉強するとか、または可能であれば子どもたちがそれぞれの旧小学校区に行って、そこで地域の方にそれぞれの地域のことを学んだりとか、それこそ祭りの練習をしたりとか、そういうこともできるんじゃないかなと思います。開校当初はなかなかいろんなことがあって難しいかもしれませんが、そういうところも計画的に入れていければなと思っております。何もしないと多分、地域からかなり距離がありますので、特に遠いところは完全に離れていってしまうというところがありますので、考えていただこうと思います。よろしく願いいたします。

#### 1 2 今後の予定について

- ・令和8年第4回定例教育委員会 4月22日(水) 14:00～4階 多目的ホール
- ・令和8年第5回定例教育委員会 5月25日(月) 14:00～4階 多目的ホール

#### 1 3 質問及び討議の内容(非公開)

議案第14号 加西市教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の人事異動内示について

#### 1 4 議決事項(非公開)

議案第14号 加西市教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の人事異動内示について

原案のとおり可決

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和8年3月27日

出席委員

職 員